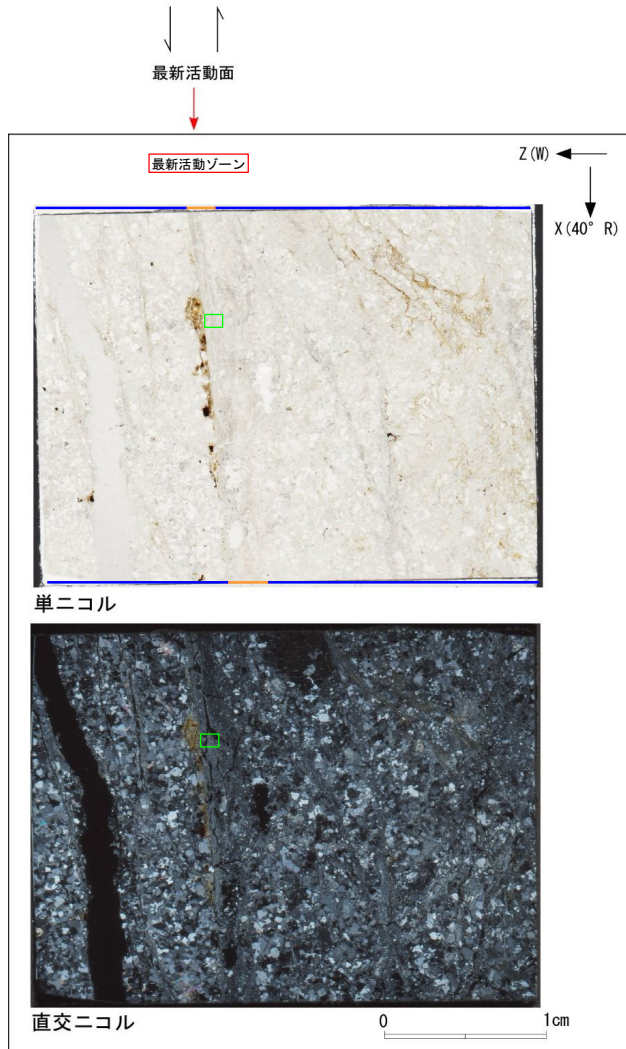
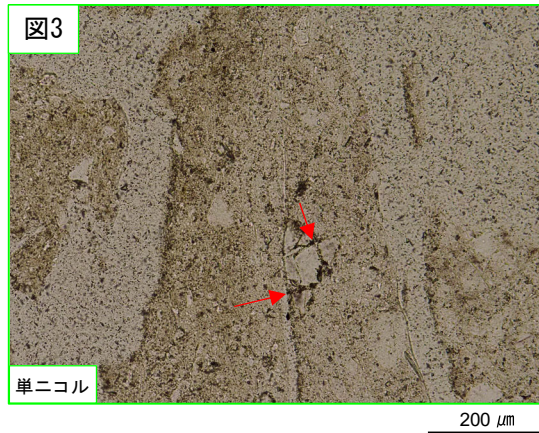


H27-B-4 深度93.13~93.22m H-7破碎帯 (3/3)

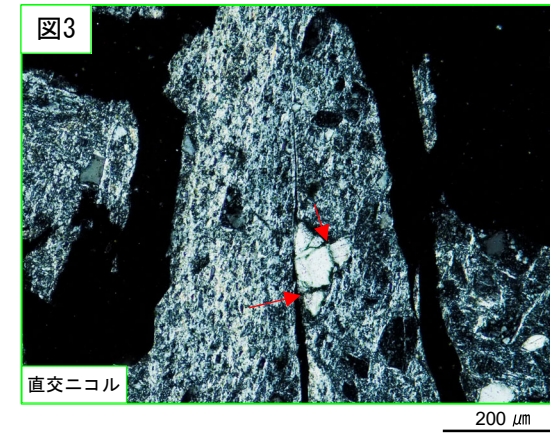
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。(図3)



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト



赤矢印は岩片の粒界を横断する破断面を示す。



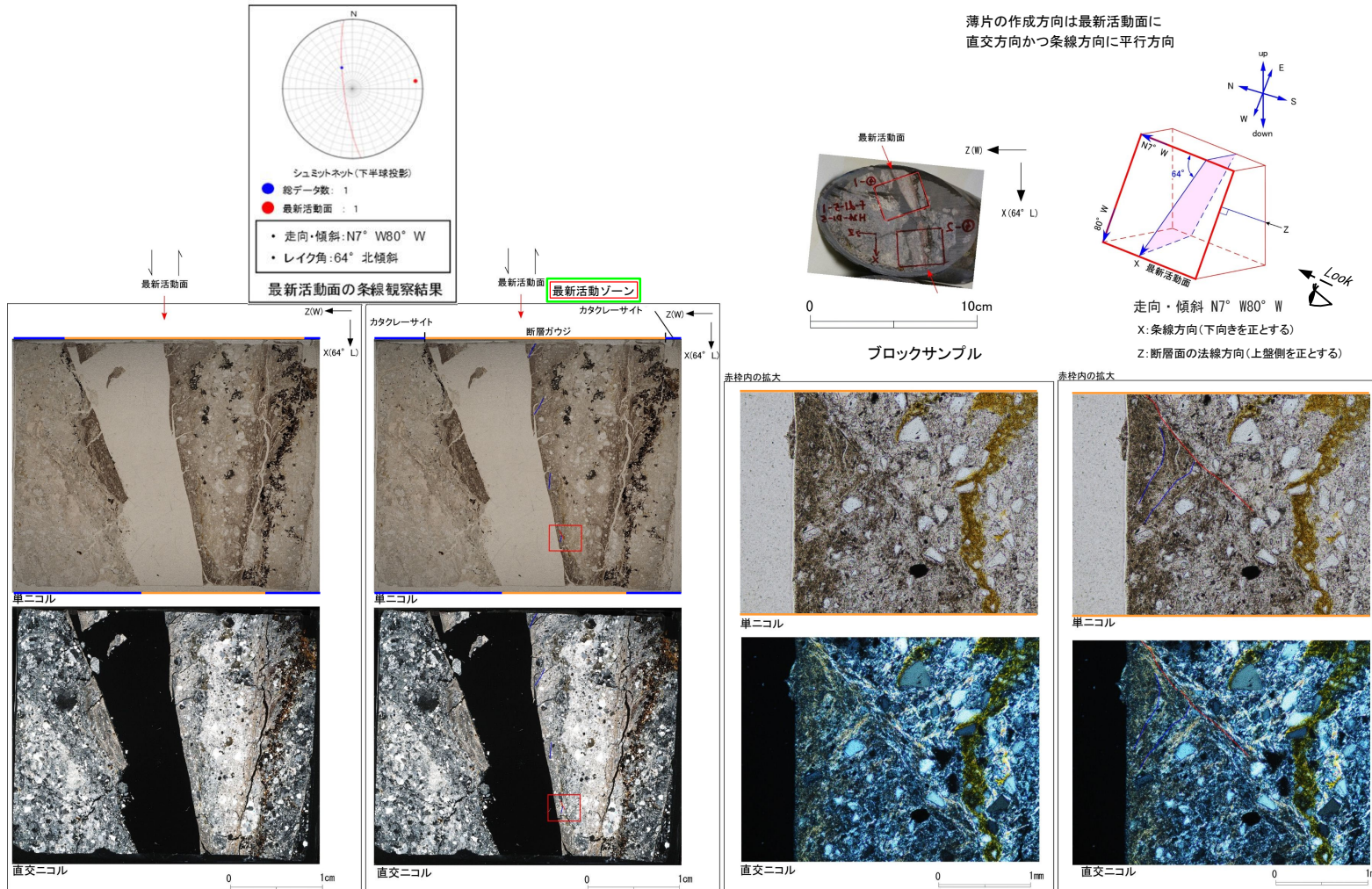
H24-D1-5

余白

H24-D1-5 深度8.51~8.71m f-d1-5-1破砕帯 (1/3)

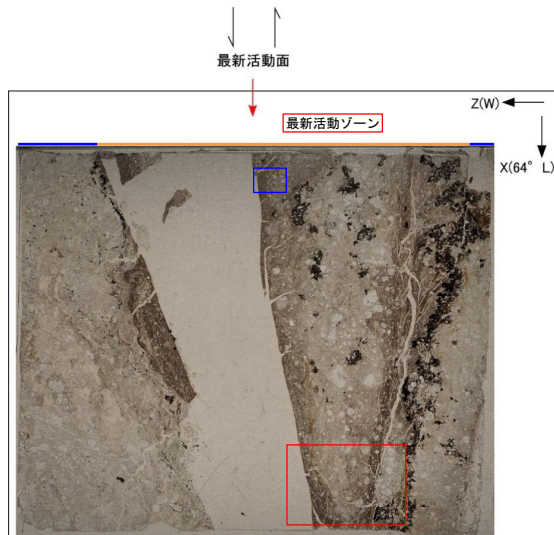
・H24-D1-5のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度8.70m)の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層岩区分の考え方に照らして、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。

- せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。
- 基質は粘土鉱物を主体とする。
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。
- 丸みを帯びている岩片が多い。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。

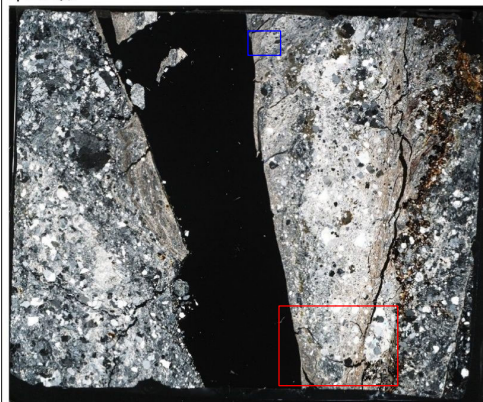


H24-D1-5 深度8.51~8.71m f-d1-5-1破碎帯 (2/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
 - せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。(図2)
 - 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
 - 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
 - 岩片は少ない。(図2)
 - 丸みを帯びている岩片が多い。(図2)

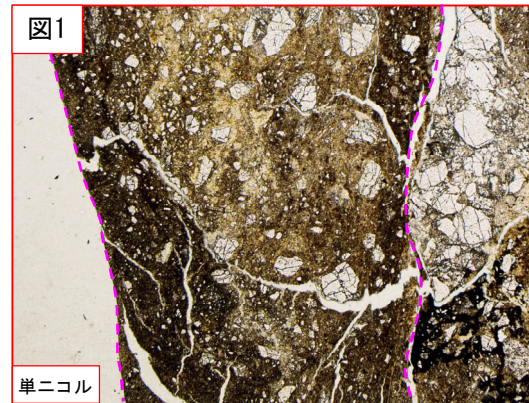


単ニコル



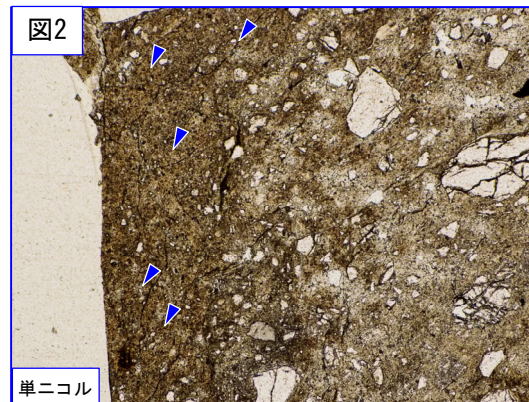
直交ニコル

- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト



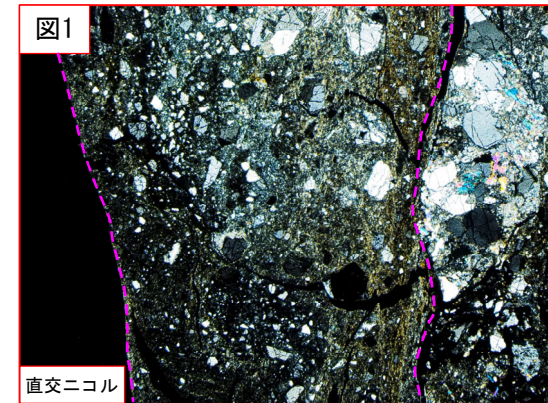
破線は帯状で直線的な範囲を示す。

1 mm



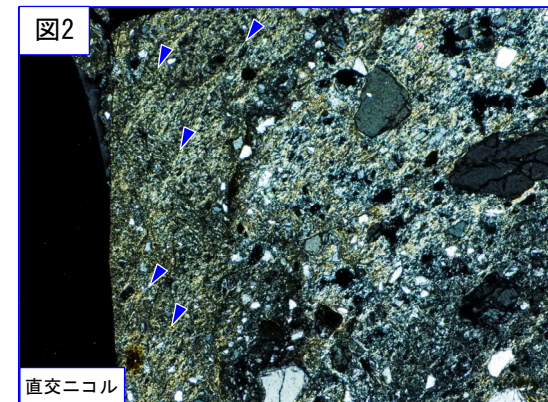
青矢印の方向は粘土鉱物の配列方向を示す。

500 μm



直交ニコル

1 mm

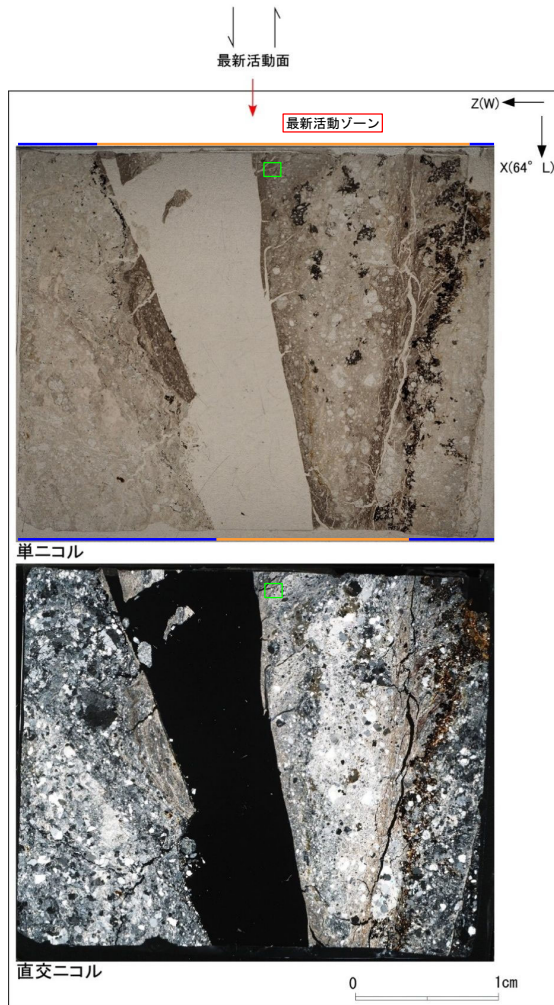


直交ニコル

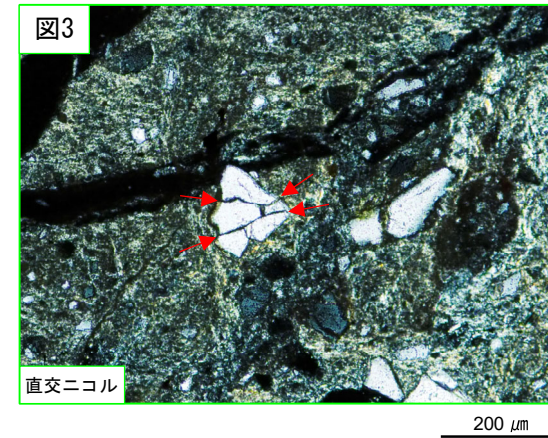
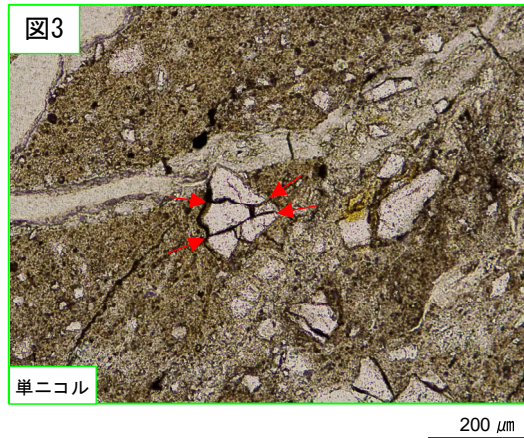
500 μm

H24-D1-5 深度8.51~8.71m f-d1-5-1破碎帯 (3/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。(図3)



凡例
 — 断層ガウジ
 — カタクレーサイト



赤矢印は岩片の粒界を横断する破断面を示す。

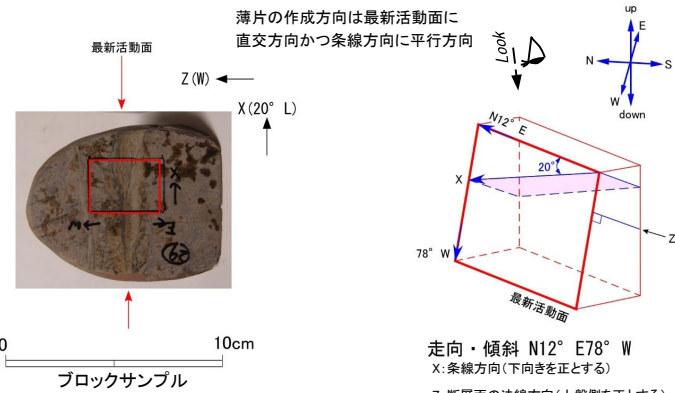
H24-D1-5 深度10.19~10.21m H-3d破碎帯 (1/3)

・H24-D1-5のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度10.21m)の変位センスは、左ずれ成分が卓越する。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層岩区分の考え方に照らして、断層ガウジを伴う破碎部であると判断した。

- 基質は粘土鉱物を主体とする。
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。
- 丸みを帯びている岩片が多い。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。

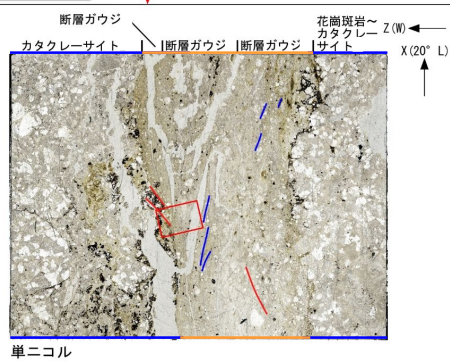
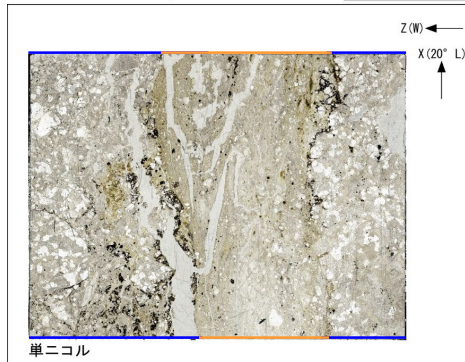


最新活動ゾーン



凡例

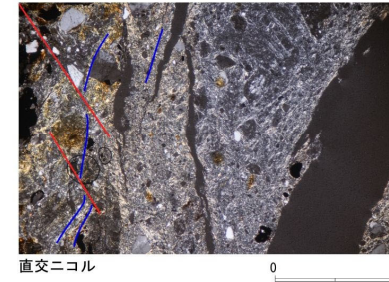
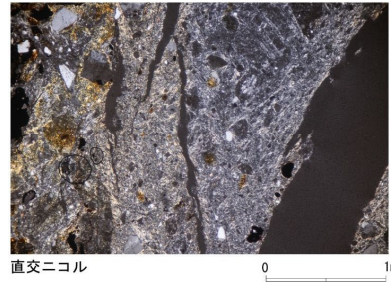
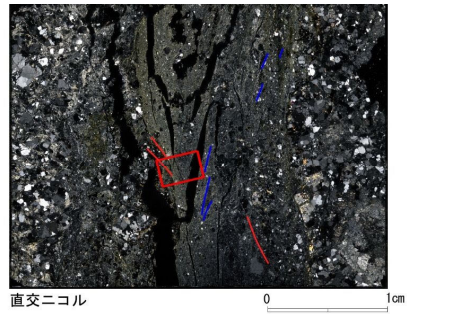
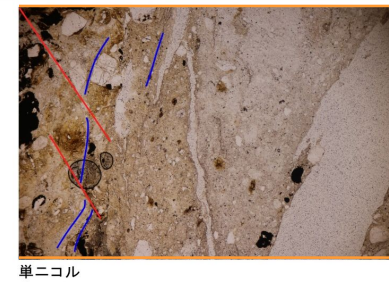
Orange line	断層ガウジ
Blue line	カタクレーサイト
Red line	R1面
Blue line	P面



赤枠内の拡大

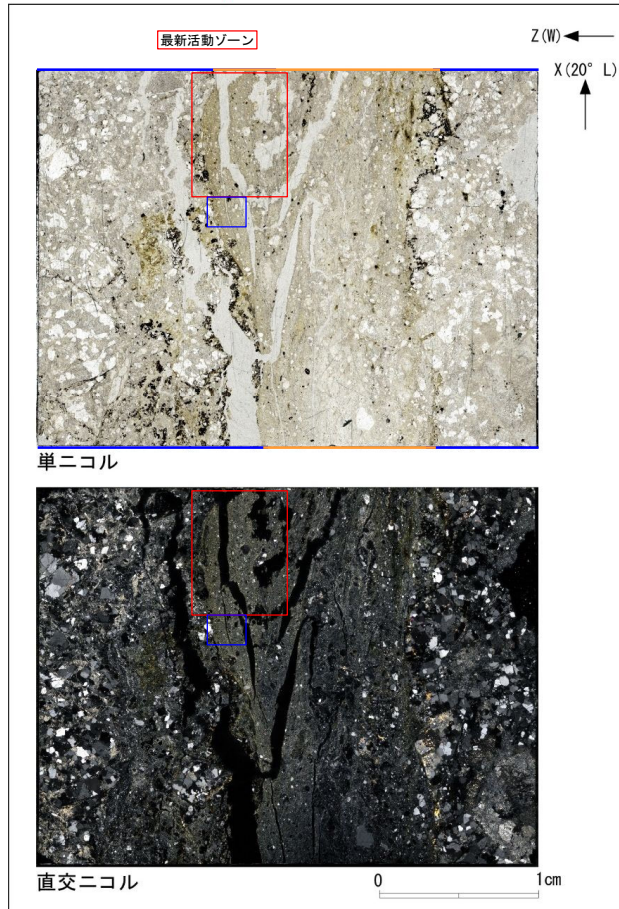


赤枠内の拡大

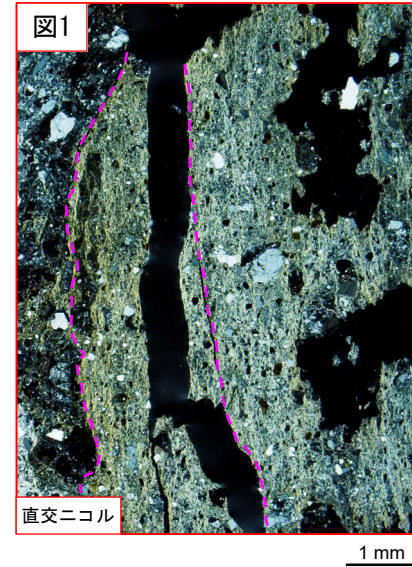
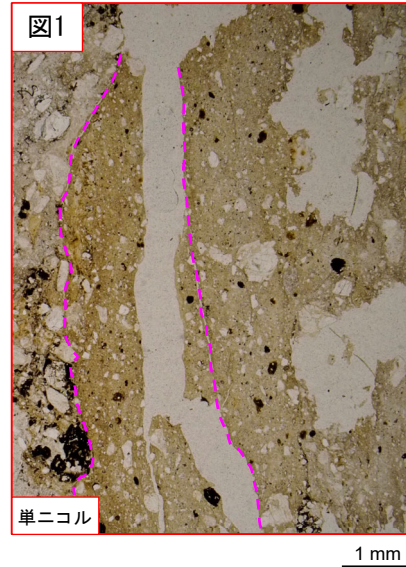


H24-D1-5 深度10.19~10.21m H-3d破碎帯 (2/3)

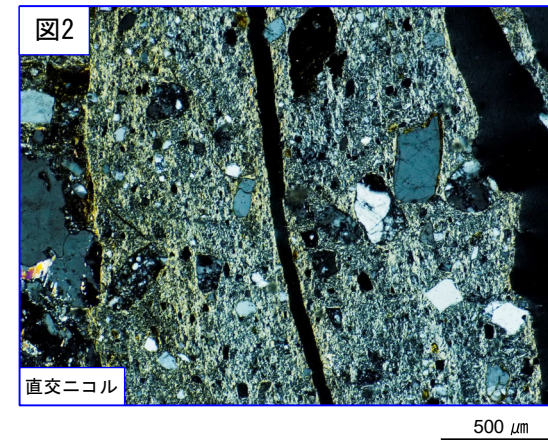
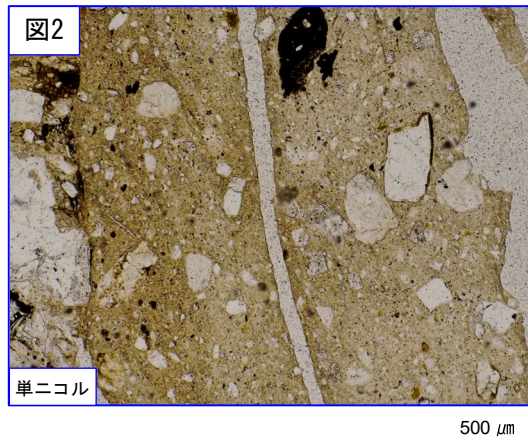
- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
 - 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
 - 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
 - 岩片は少ない。(図2)
 - 丸みを帯びている岩片が多い。(図2)



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト

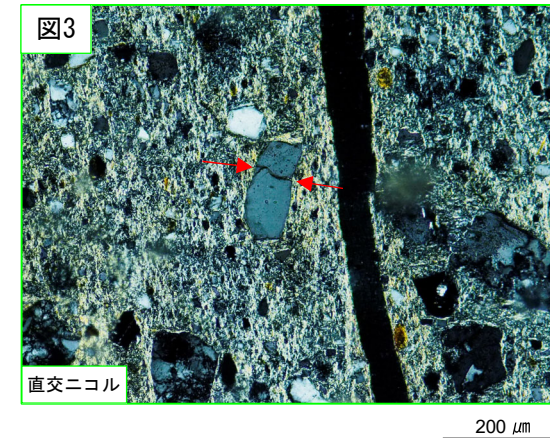
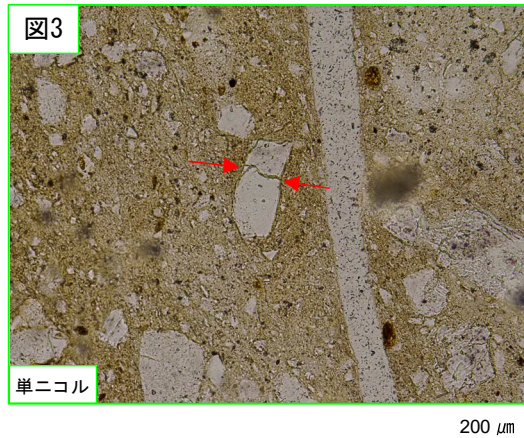
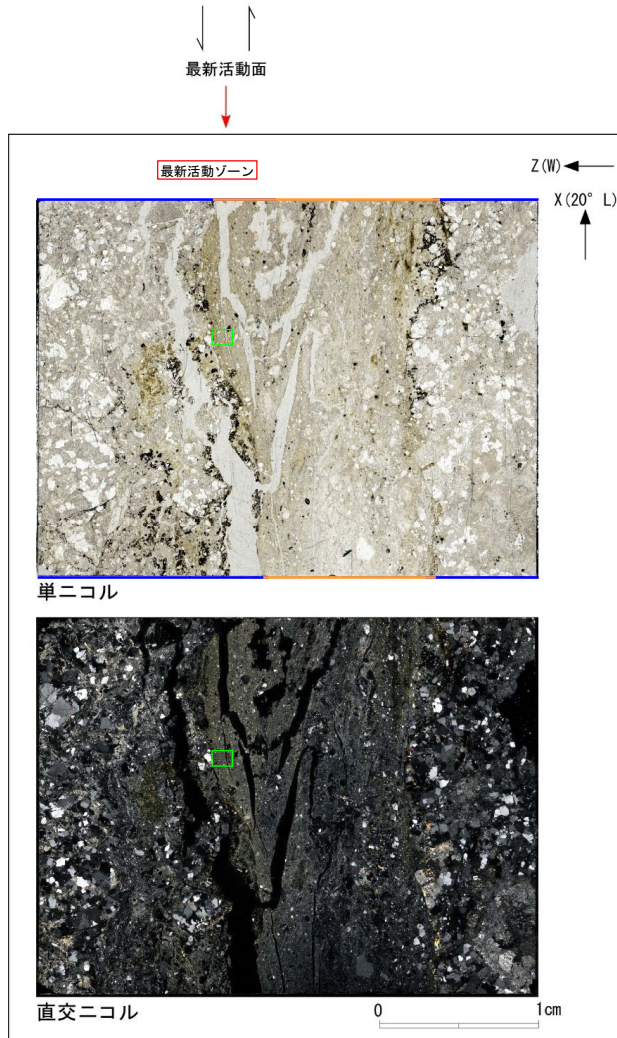


破線は帯状で直線的な範囲を示す。



H24-D1-5 深度10.19~10.21m H-3d破碎帯 (3/3)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
- 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。(図3)



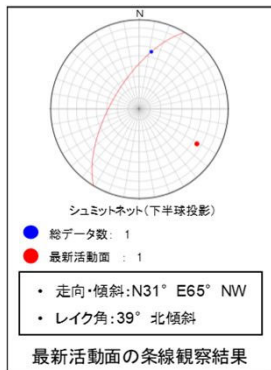
赤矢印は岩片の粒界を横断する破断面を示す。

- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト

H24-D1-5 深度10.45~10.50m H-4'破砕帯 (1/2)

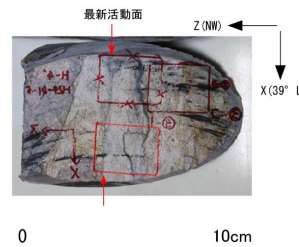
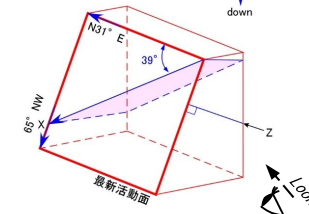
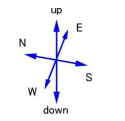
・H24-D1-5のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度10.45m)の変位センスは、右ずれを伴う正断層である。
 ・追加した文献も踏まえて薄片観察を実施し、最新活動ゾーンに認められる以下の特徴を薄片観察における断層岩区分の考え方に照らし、断層ガウジを伴う破砕部であると判断した。

- 基質は粘土鉱物を主体とする。
- 粘土状部の分布は帯状で直線的である。
- 岩片は少ない。
- 丸みを帯びている岩片が多い。

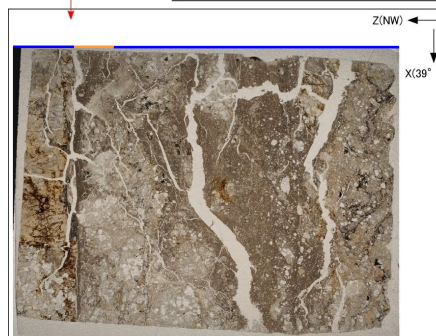


最新活動ゾーン

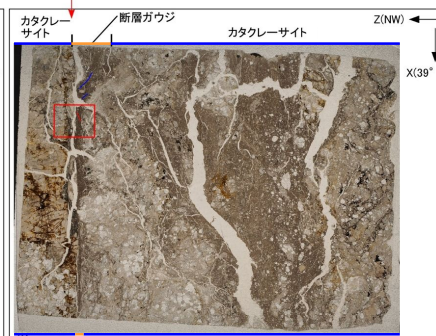
薄片の作成方向は最新活動面に
直交方向かつ条線方向に平行方向



ブロックサンプル

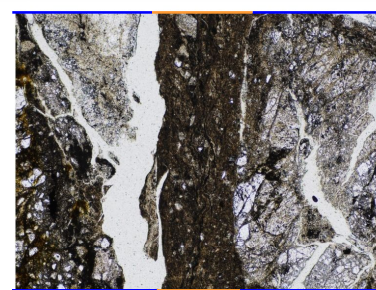


単ニコル



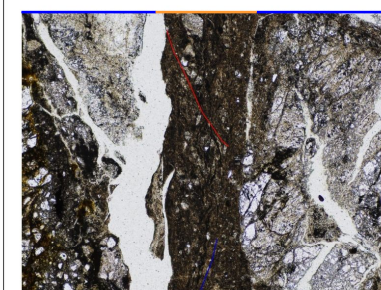
単ニコル

赤柱内の拡大



単ニコル

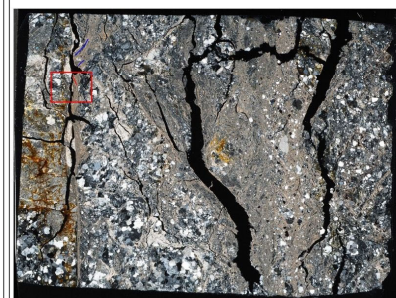
赤柱内の拡大



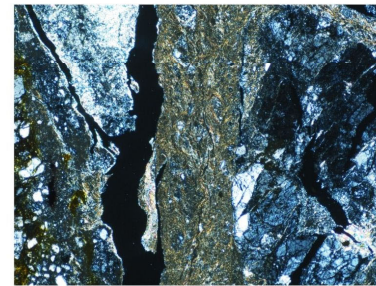
単ニコル



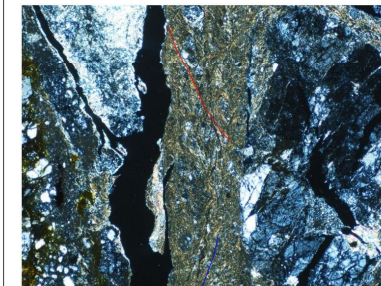
直交ニコル



直交ニコル



直交ニコル

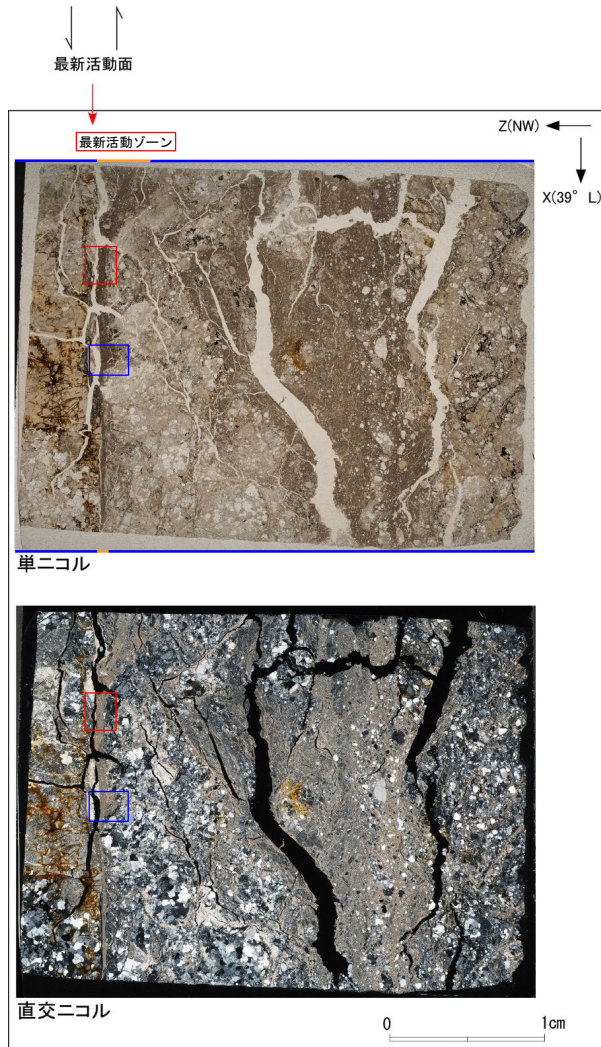


直交ニコル

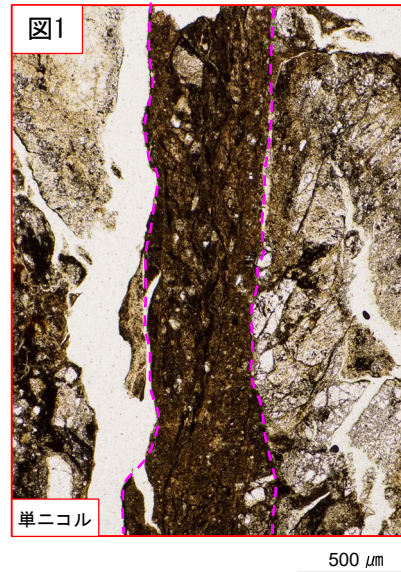
- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト
 - R1面
 - P面

H24-D1-5 深度10.45~10.50m H-4'破砕帯 (2/2)

- ・最新活動ゾーンには、以下の特徴が認められる。
 - 基質は粘土鉱物を主体とする。(図2)
 - 粘土状部の分布は帯状で直線的である。(図1)
 - 岩片は少ない。(図2)
 - 丸みを帯びている岩片が多い。(図2)



- 凡例
- 断層ガウジ
 - カタクレーサイト



破線は帯状で直線的な範囲を示す。

